

引けiNAV取引

15時46分時点のiNAVをベンチマークとした取引

インデックスファンドのトラッキングエラーを減らしたいニーズに応える

対象銘柄は、日本株・J-REIT・国内債券・国内もののレバインバ

※iNAVに信頼性があるETF

15時まで

投資家

CONNEQTOR

Market Makers

- iNAVベースと明示したRFQを送る
- iNAVということ以外、RFQの内容は同じ
- 例：iNAVで、1306買い、1億円、X X証券、T+2-5

- ベストプライスだけが表示される
- OKなら取引実行を押下

- 投資家はステータスの更新を確認

- iNAVベースで価格を提示（売り買いとも）
- iNAVで、単位がbpsという以外、気配提示の内容は同じ
- 例：iNAV対比でOfferは+2.41bps、Bidは-0.85bps
※マーケットメイカーは0.01bps単位でクオート可能

- ヒットされたらConfirmation Requestが送られる
- MMは通常通り、Accept/Declineをする

- CONNEQTORはトレードを保持しておく
- （トレードは“MM承認済み”で止まっている）

iNAV受信以降にCONNEQTORは投資家・マーケットメイカーに価格を通知
価格決定後は通常と同じプロセスで発注を行う

15時46分以降

投資家

CONNEQTOR

Market Makers

- 15時46分以降、最初のiNAVを取得
- DONEしている価格を計算 ※小数点以下は4桁まで
- 例：iNAV3,201.94円+2.41bpsを価格として計算
→ 3,202.7117円

※ここから先は通常の発注・約定結果の連携フローと同じ

証券会社

- CQは証券会社に発注を依頼（通常の発注と同じ）

証券会社

- CQは証券会社に発注を依頼（通常の発注と同じ）

CONNEQTOR

- 証券会社から約定通知を受信

• 約定結果を通知
（FIXでの通知/GUIではRFQカードのステータスが“約定済み”に）

• 約定結果を通知
（APIでの通知/GUIではRFQカードのステータスが“約定済み”に）

※ただし、「価格（小数点下4桁）×数量＝売買代金」に円未満の端数がある場合、円未満を切り捨て

iNAVが算出されないなどの場合は以下のように対応

